



登米総産

第12号



校訓
高志・挑戦・創造

Ambitions

Challenge

Creation

めざせ!
産業スペシャリスト

編集・発行／宮城県登米総合産業高等学校PTA広報委員会

〒987-0602 宮城県登米市中田町上沼字北桜場 223-1

TEL 0220-34-4666 FAX 0220-34-4655

PTA会長から

「今年度を振り返って」

PTA会長
菅原 昇

令和二年度PTA会長を務めさせて頂きました菅原昇です。本年度は県PTA総会、研修会、県北支部研修会発表など対外的な活動が主で、例年のような校内での表立ったPTAとしての活動はできず、PTA活動の醍醐味である産業祭に直接的な参加は無く、高校生の様なノリで参加し子供達と一緒に楽しむ機会がなくなった事は残念に思います。

また、朝の挨拶運動では、初回より2回目、2回目より3回目と挨拶を通じて身近に生徒たちの成長を感じられる良い機会でしたが1度だけの開催に終わりました。今までの生活様式が当たり前で無くなった現在、県内、市内でも新型コロナウイルスの感染者数が連日報道されるなど、まだまだこの状況が続く見通しの様です。しかしこんな状況下でも同じ思いで一緒に活動をサポートしてくれ

る仲間の存在が大変心強く感じられた1年でもありました。思い起こせば新学期が始まって通学できない、部活や大会も中止、縮小、各種行事の開催も危ぶまれるなど生徒たちにとって楽しみの大半が奪われ、私たちに不完全燃焼であったと思うのです。そんな青春の1ページに翻弄されながらも生徒たちに向き合い尽力下さった先生方の姿が刻まれたのではないのでしょうか。私にも師と仰ぐ先生がおられPTAの活動をすればするほど当時の先生の言葉や想いが理解でき感謝しても感謝しきれない出会いであったと思うのです。生徒の皆さんも、これからも素晴らしい出会いがきっとあるはずですから、出合いの数だけ夢を持って成長して欲しい、叶わなくなってもいい、そしていつか次の世代に夢を語れる大人になって地元を盛り上げてほしいと期待します。

つまらない大人になるな、可能性は無限だ、志を高く持つ
三年生の諸君卒業おめでとう。



PTA活動報告

・交通マナーアップ運動

十月三十日(金)午前七時五十分から三十分間、PTA役員と生徒による交通マナーアップ運動が行われました。実習棟北側駐車場への乗り入れや一時停止禁止区域での、送迎マナーの遵守が確認できました。今後も交通マナー向上へのご協力をお願いいたします。

・県北支部指導者研修会

十一月十二日(木)本吉町はまなすホールにて県北地区指導者研修会が開催され、会長の菅原昇様に事例の話題提供として本校のPTA活動について発表していただきました。



学校長より

「コロナ禍でも出来るPTA活動を！」



校長 幸清 高橋

会員の皆様におかれては、日頃から本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況から総会、研修旅行、産業祭への参加などPTA活動の核となる諸活動がほぼ中止となりました。そのような中、11月12日本吉町はまなすホールで開催された県北地区指導者研修会では菅原 昇会長による本校PTAの活動報告が発表されました。また、コロナ禍にあつて他校における活動状況を知る大切な研修となりました。この他にも10月30日PTA役員の皆様にご協力いただき、交通委員の生徒諸君とともにPTA交通マナーアップ運動を実施することが出来ました。重ねて感謝お礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感

染症拡大防止のため、これまで経験をしたことがない長期に渡る臨時休業、学校行事の中止や規模縮小と様々な活動制限を受けることになり、生徒諸君にとっても不自由な思いをさせてしまいました。部活動では多くの大会等が中止となりましたが、県高校総体代替大会でのアーチエリー部団体優勝をはじめとし、新人大会でも多くの部活動で個人入賞を果たすことが出来ました。限られた練習時間での成果であり、大変うれしく感じています。文化部においても機械工作部がロボットコンテストで県大会二連覇を果たした他、多くの文化部で可能な限り感染防止に取り組みながら活動の成果を発表してくれました。また、12月から1月にかけて有志による佐沼大網地区商店街でのプロジェクトによる地域貢献に取り組み生徒の輝く姿を見ることが出来ました。生徒諸君のこれらの活躍は、ひとえに会員皆様のご支援の賜と感謝していただいております。

さて、これから私たちが歩む時代は少子高齢化、高度情報化社会、多様な価値観、先行き不透明で変化の激しい時代と言われています。そして、コロナ禍だからこそ保護者と学校が連携を深めながら、教育愛あふれるPTA活動を展開することはとても重要です。今回、役員会でコロナ禍でも子供たちに何かしてあげられることはないか...と熟考した結果、3学年PTAとして、10年後の「手紙」〜親から子へ〜、10年後の自分へ〜という活動を行いました。3年生がちょうど28歳の年に手紙が届くという企画です。コロナ禍で辛く不自由な生活に余儀なくされている現状ではありますが、10年後の明るい未来を創造し、社会人として活躍する我が子に想いを馳せる、そして生徒自身も10年後の自分へメッセージを作成することによって、振り返りを行うことはキャリア教育にも資すると考えています。

これから、コロナ禍による非接触型の社会が一層進んでいくと思われませんが、親子の絆、学校で共に学んだ仲間たちとの絆を大切にしていきたいPTA活動に何卒ご協力いただければ幸いです。

結びに、今後とも会員の皆様とより一層の連携を図り、「地域を愛し郷土の発展に寄与する逞しい生徒を育成する登米総合産業高校」を目指して教職員一丸となつて誠心誠意努力してまいります。これからも会員皆様のPTA活動に対するご理解と積極的なご参加をどうぞよろしくお願いたします。

あれからもう3年です。みなさんは、団長に言われたように最後まで踏ん張りました。今年度は、コロナ禍で何もかもが変化しましたが、みなさんは、高校生活の集大成の3年生、最上級生として、その中でできることを懸命に模索し、実現させました。一日だけだったスポーツ大会

三学年主任より

「フレイ！フレイ！三年生！」

3学年主任 伊澤 裕樹

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様におかれましてはお子様のご卒業、誠にありがとうございます。

三年生のみなさん、みなさんが入学して初めての学年集会で、わたしは、「将来、変化を予測することがより困難な時代になつても地域の産業を担える社会人となるようにしっかりと勉強してほしい」と話しました。そして、みなさんが頑張ってくれたことを祈って、応援の気持ちで『我武者羅応援団』のビデオを観てもらいました。団長は、最後まで頑張ったことは、誇りとなつてこれからの人生を支える心の土台になるとわたしたちに教えてくれました。覚えていらっしゃるか？

あれからもう3年です。みなさんは、団長に言われたように最後まで踏ん張りました。今年度は、コロナ禍で何もかもが変化しましたが、みなさんは、高校生活の集大成の3年生、最上級生として、その中でできることを懸命に模索し、実現させました。一日だけだったスポーツ大会

でも一般公開が無しになった産業祭でも、みなさんは、見事に輝いていました。進路決定おいてもその頑張りは遺憾なく発揮されました。3年前に「どんな環境にあっても自分を信じて頑張る」と話したことが、早、その成長を垣間見ることができ、こみ上げるものを強く感じました。

コロナ禍だからこそ、なお確かに学んだことのもうひとつ『いつ終わるか分からない一度きりの大切な命』。何があっても、どうか諦めずに毎日を大事に生きてください。わたしより先に死んではいけません。いつかまたその笑顔を見せに来てください。一回りも二回りも大きく成長したみなさんに、わたしはまた会いたい。

さあ、みなさん、いよいよ卒業の日を迎えました。この登米総で培った高い志、何事にも挑戦しようとする強い気持ち、創造を怠らない力を糧に社会に飛び立つときです。

これからは、職場で、進学先で、登米総合産業高校の後輩を導く先人として頑張ってください。そして、地域の産業を支える社会人として活躍してください。

いつもみなさんを応援しています。フレー！フレー！三年生！

産業祭の様子

今年度の産業祭は新型コロナウイルスウィルス感染症を受け、十一月十三日（金）に一般公開を中止、校内発表のみで感染症対策を行った上での実施となりました。

